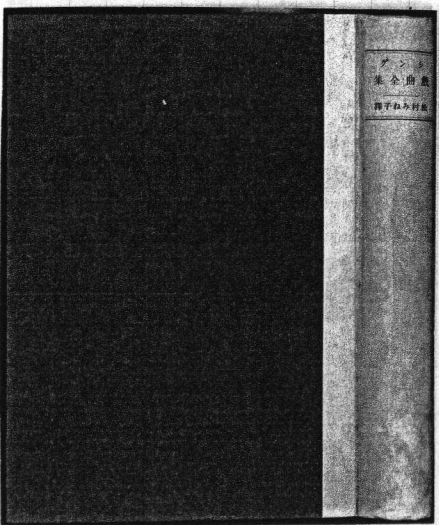


片山廣子 カヤマヒロコ 歌人、スイerland文學翻譯家。明治十一年二月十日東京生れ、昭和二十一年二月十九日歿（一八八一—一九五七）。舊姓吉田、本名ヒロ。筆名みね子、吉田廣子、松村みね子、片山ひろ子、M・M等。東洋英和女學校卒。明治二十二年片山貞次郎（のち日本銀行理事）と結婚（大正九年死別）。長男達吉は文藝評論家吉村鐵太郎、長女綾子は小説家京英。佐佐木信綱の師事し、大正期はスイerland文學の翻譯の専心、のち作歌復活、歌誌『心の花』の課題選者を務めた。

著譯書『竹柏園集・第一編』（合著・佐々木信綱編、明治二十四年一月十日博文館）、『くさくさ文』（内題「草笛」合著・紫苑會編、明治二十四年九月、二十八日大倉書店）、歌集『あけぼり』（合著・佐々木信綱選、明治二十九年六月、二十八日修文館）、『玉川集』（合著・同、明治二十九年十一月、二十一日修文館）、歌集『土琴』（合著・同、明治四十一年四月十五日春陽堂）、シヨオ作『船長ガラスバオンドの改宗』（松村みね子名、譯、佐佐木信綱編、大正四年七月十日竹柏會）、『翡翠』（大正五年二月、二十五日竹柏會出版部「心の華叢書」）、シング作『ニ幕喜劇いんたづらもの』（松村みね子名、譯、大正八年六月、二日阿田（ニ鈴）刊、東京堂書店發賣）、『ド・ダンセニイ作』、『ロダンセニイ戯曲全集』（同、譯、大正十年十一月、二日盛醒社書店）、『ピアシス』、『マアレイ』、他作『愛蘭士戯曲集・第一卷』（内題「愛蘭戯曲集・第一卷」）同、譯、

大正十一年六月十日博文館出版部）、『ロシング戯曲全集』（同、譯、



大正十一年七月「千七百新潮社」、オケリー他編「カツパのクー」(ア
イルランド傳説集)□(譯、昭和二十七年十月十五日岩波書店「岩波
少年文庫」)、「燈火節」(昭和二十八年六月十五日暮しの手帖社)、
「イエーツ作」鷹の井戸他一篇□(松村みね子各、譯、昭和二十八年十
二月)千白角川書店「角川文庫」、歌集「野の注みぐ」(昭和二十
九年一月)千五百第「書房」等。